

## は し が き

私共は、日々の教育を学習指導要領等に準拠しつつ、地域社会の実態や学校の性格に即応し、また個々の生徒の発達段階、学習到達度や特性に適合させていくには、どのようにすればよいかに関して、研究を続けて参りました。

しかし、実際の指導にあたっては、教科内容の設定や具体的な指導方法技術の活用等幾多の検討すべき課題があり、また新学習指導要領の実施を目前にひかえ、「ゆとりの時間」の運営に関しても、早急に解決すべき問題が少なくありません。

ここに、さきやかではありますが、これらの点に対して積極的に取り組んで参りました実験的研究の成果の一部をまとめて、昭和55年度研究紀要第25号としました。

今後における歩みの指針とするため、諸賢のご批判ご叱正を賜りたいと存じます。

昭和55年 5 月 30 日

校 長 太 田 雅 夫